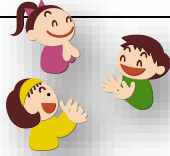
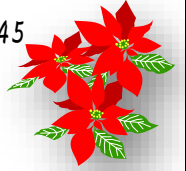




学校だより

令和4年12月5日 NO.45
尼崎市立金楽寺小学校
校長 中根 孝介



「心をいやす」

～音楽、芸術、スポーツ、会話、友達、景色、旅行、食・・・～

先日の音楽会では、子どもたちのつくり上げた音楽が私たちの心を動かし、いやしてくれたと思います。人々の心をいやしてくれたり、元気づけてくれたりくれるものは、音楽だけではありません。人によって好みも異なり、様々でしょう。同じ人でもその時々状況によって異なるかもしれません。壮大で美しい風景にいやされることもあるでしょうし、旅行をしたり、おいしいものを食べたりすることで、元気や活力をもらうこともあるでしょう。また、友だちと会話することや芸術、スポーツ、園芸…と、私たちの心をいやしてくれるものは、無限にあります。こうしたことは、大人にとっても、子どもたちにとっても同様です。子どもたちにとっても心がいやされる場や機会が必要かと思います。

1年生へ

かわいくていやされます。
ありがとう。

先日、人権週間に向けて「ありがとうの木」の取り組みについてお知らせしました（学校だより No.39）。その「ありがとうの木」に、1年生に向けて「かわいくていやされます。ありがとう。」という一文がありました。自分の子どもをみていると、心配なこともいっぱいありますが、あるとき気がついてみると「あ～、こんなに成長したのか」とか「がんばって〇〇に取り組んでるなあ」と感心したり、感動したりすることもあるでしょう。また、安心して眠る姿や笑顔を見てるだけで心がいやされることもあるでしょう。

そんなことが言えるあなたにもいやされます。
ありがとう。

中根より

「がんばること」は大切かもしれませんが、決して「いつもがんばり続けること」が一番ではないのかもしれない。ある時は、一息つき、ゆっくり過ごすことも大切なかもしれません。それが次への活力となって、さらなる成長につながることも多いのかと思います。「子どもも大人も一緒です。」同じ人間として、一人一人の思いや願いを大切にすることを心に置き、人権週間に取り組んでいきたいと思います。

校内人権週間（12月5日～9日） 世界人権デー（12月10日） ～「スマイルレター」をおくろう！～

人はみんなそれぞれに「いいところ」があります。友だち同士でそれぞれの「いいところ」を出し合い、「スマイルレター」として掲示し、広く伝え合います。子どもたちの自尊感情や自己肯定感を高める取り組みです。「自分は社会にとって役に立つ（価値がある）」「自分は大切な存在である」「自分は愛されている」などと感じることによって、さらに自分を伸ばしていこうというポジティブな感情が高まり、次への実践につなげていくことができるとも言われています。普段は気づきにくい自分のよいところを周りの人に伝えてもらうことにより、再認識できます。また、友だちのよいところを見つけることで、そのよさを再確認することもできます。学校では、ふだんから終わりの会などで、各学級で友だちのよいところを見つけて発表したり、「ありがとう」と友だちに感謝の気持ちを伝えたりする取り組みもしています。ご家族でも人権週間を機会に、取り組んでみられてはどうでしょうか。

